

ずいひつ No.104

2014年11月25日発行

Scopusの講習会

10月31日午後4時から5時半まで、楠元キャンパス4号館3階のパソコン室で、Scopusの講習会を行いました。講師は、瀧本まゆみ氏(ゼファー・ビヨンド株式会社 エルゼビア認定講師)でした。

内容は、1.新しくなったScopusの使い方-PubMedやGoogleとの使い分け、2.Mendeley(無料ツール)で文献管理をする、3.出版倫理の基礎知識、の3部でした。

1ヶ月前から広報を始め、WebCampusを通して全学生教職員にお伝えしました。参加申し込み者には、講習会当日までに、所属学部や興味のあるキーワードを記したメールを送って貰うことにしました。Mendeleyのユーザー登録も済ませておくようしてもらいました。講習日より10日くらい前には大体の人数を把握し、Scopusの提供元であるElsevierから資料等を郵送してもらおうようにしました。

参加者は、一般4名、図書館関係者6名の計10名で、過去に開催した研修会参加者数と比べ、とても少数でした。

瀧本講師の説明は、とてもわかりやすいものでした。

ScopusはPubMedよりデータが多く、医学や自然科学に限らず、社会科学や人文科学の分野も検索することができます。また、Elsevierの提供しているデータばかりでなく、他の出版社からのデータも検索することができます。

また、Scopusの特筆すべき特徴は、被引用文献を検索できることです。ある文献について、その文献を引用した文献を調べることができます。

毎年学部事務局から被引用文

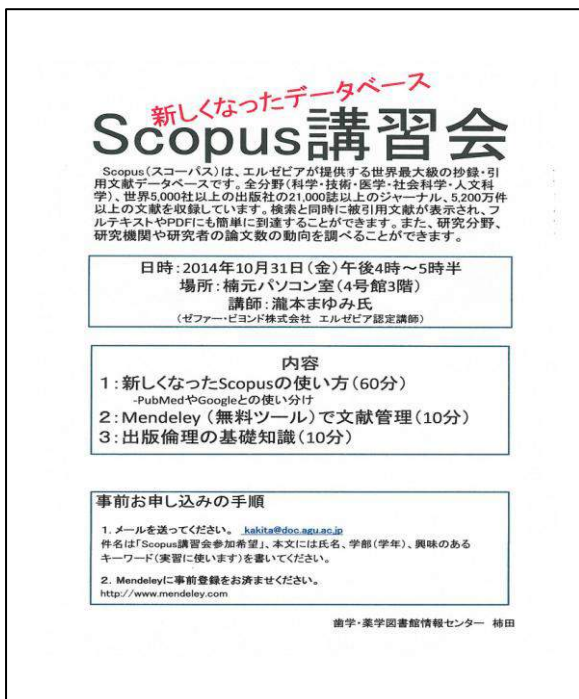
献数の調査依頼が図書館にあります。その学部に属する教員が、過去1年間に合計10回以上引用された英語文献を書いているかどうかの調査です。このことは国の助成金の評価に影響します。

ところで、検索式や検索結果は、画面を閉じた途端に消えてしまいます。ユーザー登録をして、マイリストに自分のデータを保存することはできますが、論文を書くために、それをそのまま使うことはできません。複数の検索ソフトで検索した結果をまとめたり、投稿雑誌毎に参考文献リストの形式を整えたりする場合は、文献管理ツールにデータをまとめて保存することが必要になります。

文献管理ツールには、EndNoteやMendeleyがあり、どちらも無料版があります。過去にEndNoteの講習もやりましたが、今回は、Mendeley(Elsevierが買収したため)を使用しました。予めユーザー登録をして、検索結果を移行する方法は、画面は違いますが、使い方は似通っています。Wordプラグインをインストールすれば、投稿する参考文献スタイルの変更をすることができます。

図書館ご利用の皆様には、ScopusやPubMed、EndNoteやMendeleyを大いに利用して、立派な論文を書いていただくことを希望します。

(事務長)



**新しくなったデータベース
Scopus講習会**

Scopus(スコパス)は、エルゼビアが提供する世界最大級の抄録・引用文献データベースです。全分野(科学・技術・医学・社会科学・人文科学)、世界5,000社以上の出版社の21,000誌以上のジャーナル、5,200万件以上の文献を収録しています。検索と同時に被引用文献が表示され、フルテキストやPDFにも簡単に到達することができます。また、研究分野、研究機関や研究者の論文数の動向を調べることができます。

日時:2014年10月31日(金)午後4時~5時半
場所:楠元パソコン室(4号館3階)
講師:瀧本まゆみ氏
(ゼファー・ビヨンド株式会社 エルゼビア認定講師)

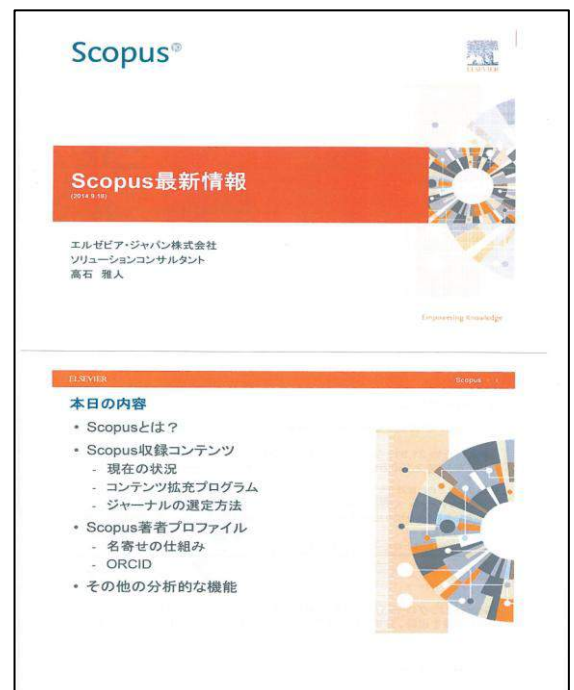
内容

- 1:新しくなったScopusの使い方(60分)
-PubMedやGoogleとの使い分け
- 2:Mendeley(無料ツール)で文献管理(10分)
- 3:出版倫理の基礎知識(10分)

事前お申し込みの手順

- 1.メールを送ってください。kakita@doe.agu.ac.jp
件名は「Scopus講習会参加希望」、本文には氏名、学部(学年)、興味のあるキーワード(実習に使用)を書いてください。
- 2.Mendeleyに事前登録をお済ませください。
<http://www.mendeley.com>

歯学・薬学図書館情報センター 橋田



Scopus®

Scopus最新情報
OVERVIEW

エルゼビア・ジャパン株式会社
ソリューションコンサルタント
高石 雅人

Enriching knowledge

目次

本日の内容

- Scopusとは?
- Scopus収録コンテンツ
 - 現在の状況
 - コンテンツ拡充プログラム
 - ジャーナルの選定方法
- Scopus著者プロフィール
 - 名寄せの仕組み
 - ORCID
- その他の分析的な機能